

長野市伝統芸能団体

保存団体	フリガナ 団体名	セハラダダイダイカグラホゾンカイ 瀬原田太々神楽保存会		
	伝統芸能の 名称	瀬原田太々神楽		
	地区・ 行政区	篠ノ井地区・瀬原田区		
行事 (祭礼)	名称	新年会 敬老会	布制神社春秋例大祭 区の五社祭	区の地蔵尊祭り 地区の恵比寿講
	場所	区の公民館	それぞれの神社及び区 内の蚕影(コカゲ)神社	区内の地蔵堂
	時期	1月、9月	4月、9月、10月	11月
	内容	新年会の初舞いや敬老会のアトラクション、また地域に五穀豊穰と地域の安全を祈願し合せて氏子地域住民の健康や幸せを祈って神前に舞を奉納する活動。又、区内の子どもの守り神様と言われる地蔵祭りや五社の祭りに親子神楽の奉納も行われる。その他地域のイベントにも参加している。		
	いわれ ・特徴	<p>五社祭とその祭りについて</p> <p>かつて個々に行われていた五社の祭りを一緒に一日で行う祭りです。五社は区内にある蚕影神社(祭日 5月1日)、秋葉神社(9月23日)、伊勢社(3月21日)、稲穂大明神(9月23日)、天満宮(山の神共 10月2日)。これらの神様の祭りを、お米の取入れの終る10月第3日曜日に平成の時代になって行われるようになりました。時代の流れと申しましうか、祭りを担う若い人達が勤めで参加するのが難しくなってくるようになり、個々の祭りが大変になってきました。そこで祭りが途絶えないように、田圃の取入れの終る10月に合祀祭として五社の神々の祭りを行うようになったのです。合わせて昭和40年代に途絶え十数年の間休止していた太々神楽がかつて現役だった有志の人たちの手で復活され、祭りの賑わいを取り戻せるようになってきました。</p> <p>しかし神楽の存続は後継者ができないと続きません。平成中ばに再び休止状態になってしまいました。しかし平成の初めから始められた都市企画の区画整理事業が進み、平成14年ごろから住宅地分譲によって新しい家が續々建てられ一挙に区民が増え、子供達の数も多くなり地元の祭りとして、いくつかの祭りに参加されて休止状態の神楽も復活し子供達を含め後継者育成も始められました。月2～3度の練習日を設けて継続的な練習を行うようになると、子供達はどんどん上達して祭本番の奉納神楽にも出演できるようになっています。</p> <p>地元布制神社の例大祭にも親子獅子の二頭で奉納舞も行い、ながの獅子舞フェスティバルにも第1回より参加させていただいて練習の成果を御披露しています。</p>		